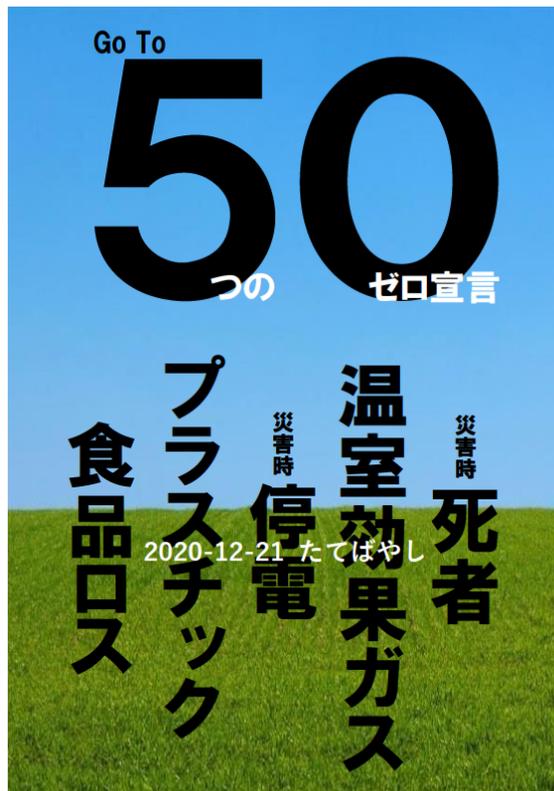


たてばやし5つのゼロ宣言 の進行管理について

令和6年度実績

令和7年度予定



宣言1 自然災害による死者「ゼロ」

館林市の強靱化とともに、市民の防災意識を高め、自然災害による死者をゼロにする。

宣言2 温室効果ガス排出量「ゼロ」

再生可能エネルギー資源を最大限に活用することや、日々の生活を見直しエコな暮らしを推進することにより、温室効果ガスの排出量を実質ゼロにする。

宣言3 災害時の停電「ゼロ」

エネルギーの自立・分散化（地産地消）により、災害時にも電力受給を継続する。

宣言4 プラスチックごみ「ゼロ」

まちや水辺のプラスチックごみをなくす。

宣言5 食品ロス「ゼロ」

「MOTTAINAI」（もったいない）の心で食品ロスをなくす。

たてばやし5つのゼロ宣言実現プラン〈令和6年度実績〉

1 たてばやし5つのゼロ宣言について

(1)概要

世界的な気候変動の影響により、甚大な自然災害が頻発し、気候変動の原因でもある地球温暖化は深刻な問題となっています。また、生態系に深刻な被害をもたらす海洋プラスチック問題、大量の食品廃棄が環境負荷となっている食品ロス問題など、様々な環境問題が発生しています。

群馬県では、これらの課題を2050年までに解決し、災害に強く、持続可能な社会を構築するとともに、県民の幸福度を向上させるため、「ぐんま5つのゼロ宣言」をしました。

本市においても、地球温暖化や気候変動による影響は例外ではなく、群馬県の趣旨に賛同し、令和2年12月に「たてばやし5つのゼロ宣言」をしました。

(2)宣言内容

宣言1 自然災害による死者「ゼロ」

館林市の強靱化とともに、市民の防災意識を高め、自然災害による死者をゼロにする

宣言2 温室効果ガス排出量「ゼロ」

再生可能エネルギー資源を最大限に活用することや、日々の生活を見直しエコな暮らしを推進することにより、温室効果ガスの排出量を実質ゼロにする

宣言3 災害時の停電「ゼロ」

エネルギーの自立・分散化(地産地消)により、災害時にも電力受給を継続する

宣言4 プラスチックごみ「ゼロ」

まちや水辺のプラスチックごみをなくす

宣言5 食品ロス「ゼロ」

「MOTTAINAI」(もったいない)の心で食品ロスをなくす

2 令和6年度の主な取組内容

(1)宣言ごとの主な取組

宣言1 自然災害による死者「ゼロ」

進捗評価 ↗：進んだ ー：現状維持 ↘：進んでいない

項目	進捗評価	主な取組
1 災害への備え	↗	市民・事業者等と協働して災害に対応できるよう、新たに1団体と防災協定を締結したほか、県が実施する被災宅地危険度判定講習会に参加しました。
2 減災	↗	雨水の急激な流出を抑制し、河川の氾濫を防ぐため、雨水管渠の整備、詳細設計の実施のほか、茂林寺川の浚渫、宮田2号幹線調整池の整備を行いました。

3	災害発生時	—	継続した取組として、市内の井戸所有者の協力のもと「防災協力井戸」13件を登録しているほか、強風や豪雨が発生した場合は、公園施設や緑地のパトロールを実施しました。
4	市民の防災意識	↑	自主防災組織の活動を支援するため、12地区の防災訓練において非常食等の提供を実施したほか、23地区への資機材整備費補助、8地区への防災訓練補助を実施しました。

宣言2 温室効果ガス排出量「ゼロ」

宣言3 災害時の停電「ゼロ」

項目		進捗評価	主な取組
1	再生可能エネルギーの導入拡大、エネルギーの有効活用	↑	家庭における温室効果ガス排出抑制や災害時の停電に備えるため、蓄電池設備等設置補助金を交付しました。 (合計 2,961 千円・69 件) ・定置用蓄電池 2,741 千円(55 件) ・ポータブル蓄電池 120 千円(12 件) ・V2H 100 千円(2 件)
2	省エネルギー	↑	公共施設の省エネルギー化推進のため、省エネ法による中長期計画に基づき、小中学校 LED 化工事を推進するとともに、小中学校空調設備更新時に省エネ型エアコンを採用しました。
3	交通による温室効果ガス削減	↑	バスの利用者増を図るため、公立高校入学説明会において啓発を実施したほか、路線バスの乗り方教室を18回(うち出前講座14回)実施しました。また、高齢者路線バス定期券を416件無料交付しました。
4	温暖化の影響についての啓発	—	「あったかぐらし」をテーマに、寒い中でもエコで暖かい暮らしに役立つ図書の展示や貸出を行いました。延べ146冊の貸出をしました。
5	ごみの減量による温室効果ガス削減	↑	令和5年4月から、給食残菜や野菜くずの飼料化を実施し、令和6年10月からリサイクルされた飼料を食べた鶏が産んだ卵を加工して給食で提供できるようになったことから「給食残菜の循環型リサイクル」を実現しました。

宣言4 プラスチックごみ「ゼロ」

項目		進捗評価	主な取組
1	プラスチックごみ削減	↑	廃ビニールや廃プラスチック等の農業用廃資材の適正処理のため、年4回、廃資材の回収を実施しました。また、ペットボトルの水平リサイクルの推進に関する協定のもと、総重量 238.24t のペットボトルを水平リサイクルしました。

宣言5 食品ロス「ゼロ」

項目		進捗評価	主な取組
1	食品ロスの削減	↑	ごみゼロ館リユースイベントにおいて、新たにフードドライブを実施し、家庭で消費されない食料品を集め、関係機関を通じ、食べ物に困っている方や福祉施設などへ届けました。そのほか、食ロスの削減について給食日より、学校ホームページ等による家庭・地域への情報発信を行いました。

(2)総評

令和6年度は、宣言1「自然災害による死者『ゼロ』」、宣言2「温室効果ガス排出量『ゼロ』」、宣言3「災害時の停電『ゼロ』」、宣言4「プラスチックごみ『ゼロ』」、宣言5「食品ロス『ゼロ』」の全ての宣言において取組の進展がみられました。

以上を踏まえ、今後も着実に「たてばやし5つのゼロ宣言」の実現に向け、取組の推進を図っていくためには、市民への「5つのゼロ宣言」の認知度の向上に努めるほか、特に宣言2「温室効果ガス排出量『ゼロ』」の実現に向け、太陽光発電をはじめとした再生可能エネルギーへの積極的な移行やEVを含めたゼロエミッションビークル(ZEV)への転換等といった直接的に二酸化炭素を排出しない生産活動等への変容が必要不可欠です。

※ZEV(ゼロエミッションビークル)

EV(電気自動車)、FCV(燃料電池車)、PHEV(プラグインハイブリッド車)HV(ハイブリッド車)

3 令和7年度の新規取組

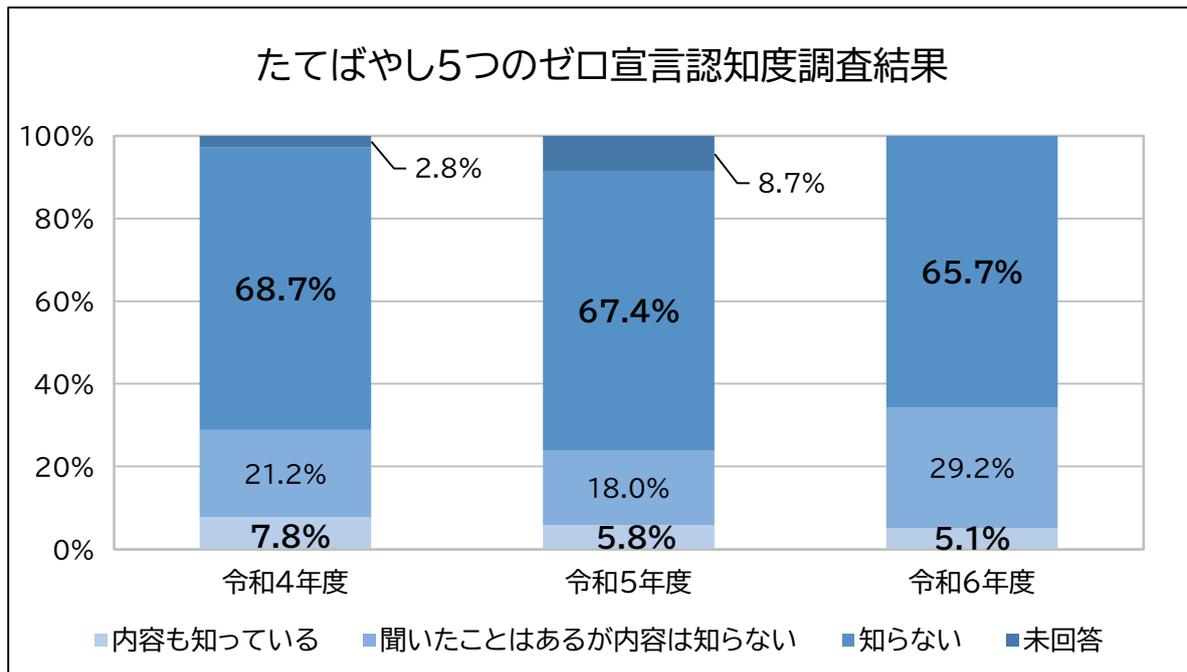
宣言2 温室効果ガス排出量「ゼロ」

項目		主な取組
1	省エネルギー	市庁舎空調設備改修工事、公園園路灯 LED ランプ交換工事、ダノン城沼アリーナ LED 照明設備改修工事、公民館講堂等照明設備 LED 化工事を実施し、エネルギー効率の向上と環境負荷の軽減を図ります。

4 たてばやし5つのゼロ宣言の認知度

たてばやし5つのゼロ宣言の認知度を図るため、市民向けにアンケート調査を実施しています。調査結果は以下のとおりです。

たてばやし5つのゼロ宣言の内容も知っている人は1割未満にとどまっています。認知度向上のため、たてばやし5つのゼロ宣言に関する取組の紹介を毎月ケーブルテレビの放送を通じて情報発信しているほか、広報紙への掲載や出前講座を実施しています。また、環境イベントでは民間企業の協力を得て、体験や展示を楽しめるブースを設けました。今後もこれらの活動を継続し、より多くの方に情報を届け、理解を深めていただけるよう努めていきます。



出典：市民・事業者アンケート結果より
(第三次館林市環境基本計画進行管理)